



総合展示会に参加して

2年生 曾根さやか

11月に長島愛生園で「総合展示会」がありました。今年の総合展示会のテーマは「旅の思い出」で、入所者の方や職員の方の絵画、写真、手工芸品、作品などが展示されていました。そこに私たちも展示で参加させていただきました。「旅の思い出」に繋がる物をクラスメートと意見を出し合い、検討しました。そこで、今年のニュースと言えば、「野球」「WBC」「メジャーリーグ」などなど、意見を出し合った結果、「エンジェルス」「大谷翔平選手！」というキーワードに決まりました。そして私たちも行っていない、ロサンゼルスに「大谷翔平選手に会いに行った(つ・も・り)思い出」の展示を行うことを決定し、ロサンゼルスまでの道のり、機内食、気候などを調べ、展示しました。するとエンジェルの帽子をかぶって参加されている中尾自治会長さんに出会いました！エンジェルの帽子をかぶった中尾自治会長さんを見て、「やって良かった！」「私たちと一緒に応援に行った(つ・も・り)になってくれたと信じたい！」と思った1日でした。



臨床看護技術演習に参加して



2年生 河本 友結

各看護学実習の総まとめとなる実習である統合実習開始前に行われる、「臨床看護技術演習」に参加しました。各看護学実習では一人の患者を受持ち、必要な看護実践を行っていました。しかし、統合実習では前半2名、後半では4人の患者を複数受持つため、優先順位や状況判断が必要になります。そのため演習では統合実習に即し、複数患者を受持ち、優先順位の考え方や依頼の方法、その場での判断から、どのように看護を行うか考え実施しました。



複数の患者の状況や状態を把握し、タイムマネジメントを行いながら看護を行うことの難しさを実感しました。一人の患者さまの援助を提供するためには、その他の患者さまの状況を把握しケアに集中できる時間を確保した上で援助を行うことが、患者の安全にも繋がることを理解することができました。また他看護師に依頼する場合、患者の状態や何をどうして欲しいのかなど ISBAR-C（状況や背景、

依頼内容、復唱）を用いて依頼をすることの必要性や、実施後の報告の重要性も学ぶこともできました。

統合実習では今回の演習で学んだことを活かし、複数受持ち患者の看護が行えるように頑張っていきたいです。

